

## 各部署の現状と今後の展望

# 試験研究センター 品質保証室

### 1. はじめに

品質保証室は、試験等部門の品質システムの構築・維持管理の品質管理業務と、計量法に基づくJCSS校正などの計測機器の校正業務を実施している。

1996年に前身となる品質保証センターが設置され、2006年から品質保証部に、2021年以降は現在の品質保証室へと変遷している。

### 2. 業務内容と推移

#### 2.1 試験品質保証への取組み

当センターは、1995年よりISO/IECガイド25（現：ISO/IEC 17025（JIS Q 17025）「試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項」）に基づく品質システムの構築に着手して、現在、すべての試験等業務を試験品質システムの適用範囲とし運用している。

ISO/IEC 17025（JIS Q 17025）は、2017年に12年ぶりに改定された。ISO 9001との整合やデータ情報管理の電子化等を意識した内容であり、これらに対応するため、試験品質マニュアル及び規程類を2018年11月に改定し運用している。主な変更内容は以下の通りである。

- ① 要員の力量評価として、要員の資格認定時に定量的な評価を盛り込み、その力量が維持できていることを定期的に内部で監視している。
- ② 試験等結果の妥当性の確保の一環として、外部機関主催の技能試験への参加に加えて、各部署が定期的に内部技能試験を実施している。
- ③ 試験品質マニュアル等の品質文書及び帳票類を電子化し、記録の保存方法を紙から電子媒体に移行できるよう業務体制を見直している。

また、1999年に、NITE（独立行政法人製品評価技術基盤機構）の審査を通じ、品質システム及び技術的能力

の水準について評価判定を受けて、JNLA試験事業者の認定（現：産業標準化法試験事業者登録制度）を取得した。それ以降に登録範囲の変更等が行われ、直近10年間で2021年に本部が登録区分を19区分から20区分に変更し、支所であった大淀試験室、神戸試験室、京都試験室及び堺試験室の閉室に伴い登録を返上している。登録証を図-1に示す。登録範囲は「土木・建築」、「鉄鋼・非鉄金属」及び「化学品」の3分野の20区分を取得している。

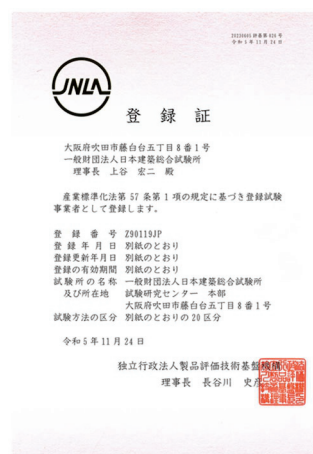


図-1 登録証

#### 2.2 JCSS校正サービスの提供

当室では、「力」（一軸試験機）、「質量」（電子式非自動はかり）、「長さ」（一次元寸法測定器）の3区分のJCSSの登録を取得している。登録証を図-2に示す。校正状況を写真-1～写真-2に示し、JCSS校正の業務範囲を表-1に示す。なお、現地校正は校正対象器の設置場所、常設校正は当室の校正室にて校正を実施する。また、JCSS校正以外の計測機器で、温度計等の校正を実施している。

当室の顧客はJNLA試験事業者、JIS認証及びISO 9001認証の登録を取得する企業が多い。各企業は自社の登録を維持するため、使用する計測機器にJCSS校正等を継続して実施する必要がある。これらから、直近10年間で顧客層や校正品目に大きな変化はないが、依頼件数は既存の顧客からの紹介によりノギス及び温度計が増加している。校正業務の依頼件数比率の推移を図-3に示す。

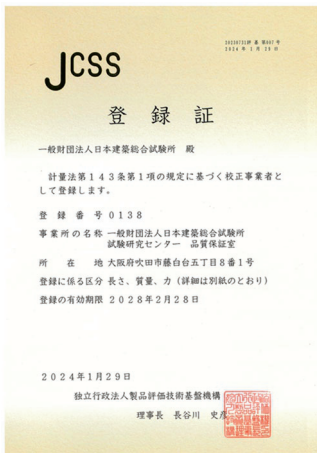


図-2 登録証



写真-1 校正状況 (一軸試験機)

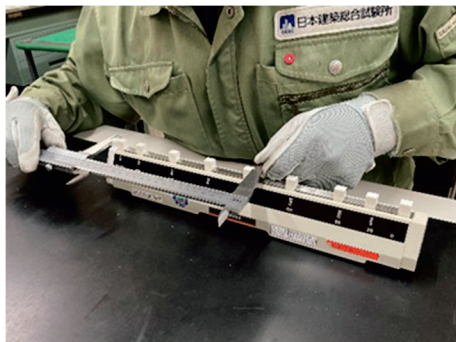


写真-2 校正状況 (ノギス)

表-1 JCSS校正の業務範囲

区分	対象器	校正場所
力	一軸試験機	現地校正
質量	電子式非自動はかり	現地校正
長さ	一次元寸法測定器 (ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ)	現地または常設校正

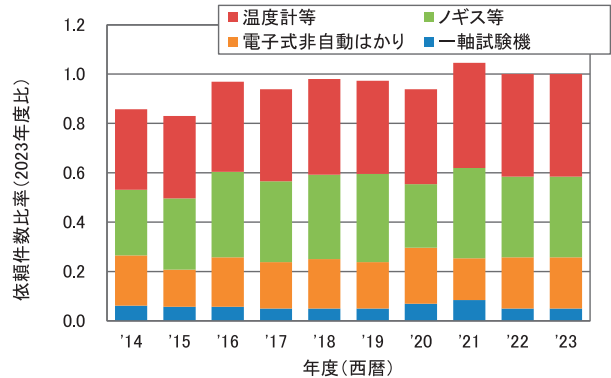


図-3 校正業務の依頼件数比率の推移

### 3. 今後の取組み

2022年4月より顧客ニーズに対応するため、電子媒体による電子署名・タイムスタンプ付の、試験等の報告書及び校正証明書の発行サービスを開始している。報告書等はPDFファイルでメール送付するため、郵送受取りの手間がなく、ペーパーレス化できるメリットがある。現状、外部委託していた電子署名・タイムスタンプの付与及び発行手続きを、タイムスタンプ専用端末を導入して、当センター内で行える準備を進めている。これらは、2024年度以降に運用予定である。

顧客からの要望に対応するため、取扱う校正品目に、計測機器の点検に使用する分銅を追加する予定である。これらは、2025年度よりJCSS校正サービスを提供できるよう業務体制の整備に取り組んでいる。

### 4. おわりに

試験品質システムを構築、運用し29年が経過しており、日常業務として職員に浸透し適正に維持、運用できていると自信を持っている。当センターの実績・信頼がある試験等のサービスは、お客様の質の高い業務の実現に活用いただける。

校正業務については、校正作業に加えて品質システムや試験実施の話題にも対応可能なので、当室の校正サービスを利用いただきたい。

(品質保証室長 前部則雄)